

各種新聞圖解の内
郵便報知新聞
第五百号

文運隆盛の秋を欣慕し、學事の勉勵
する者、伏見北大組第一の區相生町に住る
某と、衆庶と諭して開化の域を勧むるに
雖も、猶齡長して小童と共々學ぶを耻或
丁推して成る奉仕の暇あり、徒に歲月を過
くして、文盲とある者許多と歎むる折、
適夜學校開業の府令を聞き、欣然して
花麗に氷立ち、街頭を歩いて、柵木を打鳴し
つ宣言せり。東西く、今度相生町の龍
徳寺に於て、夜學を開き、おまじ、此學校の
終日錢儲とせしむる人、奉公する者の替、お
まじ、野あまの學費、成丈易く、タ六
時よりドンナま、何君も早くおれ、早く
来たり、早く賢く、おまじ、不來者へ、
チヨシ、おまじ、觸歩行さ、異風、おまじ、夫子
と、おまじ、木鐸、おまじ、翻、おまじ、
おまじ、乎。

痺々堂鈍々記



政榮堂
彫工 芥

解書、西澤

